



農業における職場環境改善

～臨床心理士としての視点から～

株式会社アウラ心理教育センター 本多公子

人材育成サポート

後継者育成、スタッフ教育でお困りのあなたへ。

一次産業の人材不足が深刻です。高齢化に伴う担い手不足を補うため若手の従事者を募るも長続きしない、という声も多く聞かれます。その対処法は…

彼、彼女たちにとっては一次産業と言えども“就職”という概念ですので、働きやすい環境や職場の人間関係の良さ、ブラックではないという安心も求めています。一般企業と同等の扱いが必須となっている今、良い人材の確保、育成に留意すべき点を“こころの専門家”である臨床心理士だからこその視点と経験からお伝え致します。

「今の受け入れ体制が適切なのかよく分からない」

「働き方改革やハラスメント防止って我々の職場に必要なの？」

職場への愛着を育てつつ、仕事への意欲を高めさせる工夫が必要です。「人材定着」という観点から、戦略的に労働環境を整えるために“こころの専門家”を活用してください。

「仕事がきついとすぐ辞めてしまう。彼らの“きつい”基準が分からない」

「メンタル不調で長期休暇…期待していた人材なので大きな痛手だ」

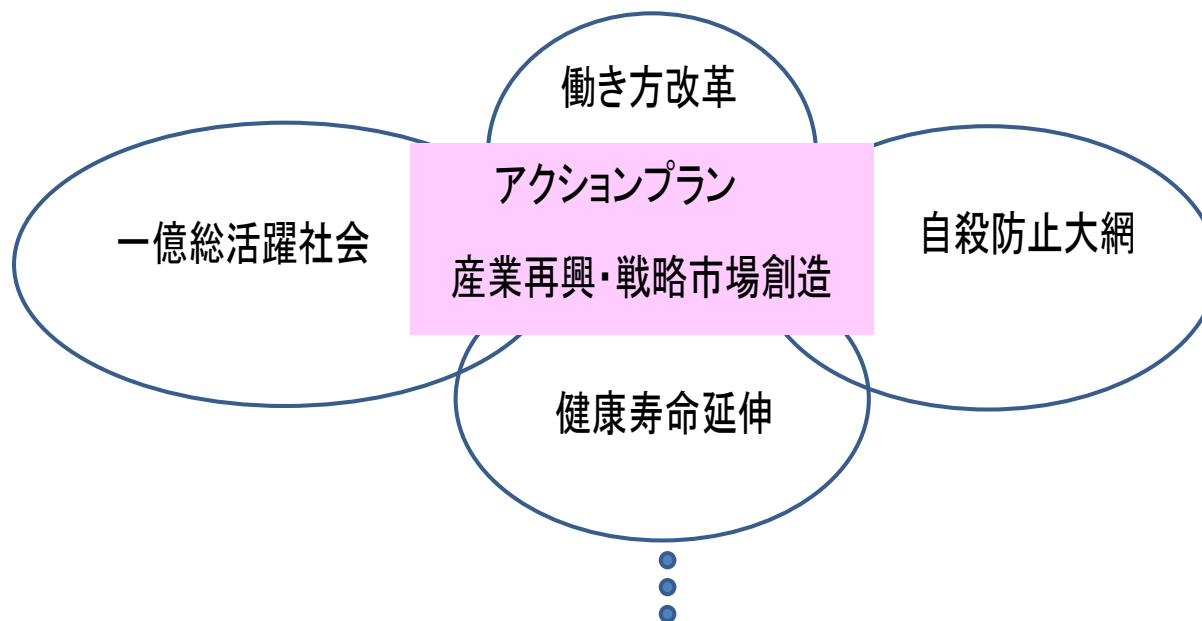
一般に、メンタルが弱いといわれる若者たち。鍛えるよりも“上手く寄り添う”指導が大切です。自分たちが培ってきた価値観を変える必要も出てきます。心の機微を読み解く臨床心理士としてリアルな若者像をお伝えします。

「個人経営から大規模農業への転換期を迎えている。スタッフの意識改革は？」

「突発的な対応が必要になる酪農の働き方、何をどう整えれば良い？」

製造業やサービス業と異なり、始業・終業時間が不確実、繁忙期は日曜出勤など一次産業ならではの事情もあります。不平・不満が出ないスタッフ掌握術とは…

本多公子の特徴: 政策や社会の動きも俯瞰した上でのご支援



保険料抑制

- ★ データヘルスの推進
- ★ コラボヘルスの推進

労働安全衛生法の遵守
「労働者の心の健康の保持増進のための指針」

↓
労災申請件数・認定件数の抑制

労働力確保



本多 公子

臨床心理士。

消防庁 緊急時メンタルサポートチーム専門家
PTSD専門研修(厚生労働省事業)名簿登載者
日本プロ農業総合支援機構(J-PAO) 賛助会員

県立高校の教諭として20年以上、思春期の青少年達と向き合った後、総合病院ウィメンズセンター勤務や大学の学生相談室勤務等を経て、心理オフィスを開設。

「心の健康にも予防が大切」をキーワードに、企業・組織へのメンタルヘルスサポートや、個人への心理療法を行うとともに、セミナー・講演会の講師としても幅広く活躍。TV・ラジオでのコメンテーターや、新聞(読売新聞等)・雑誌(日経BP、小学館、家庭画報等)での取材記事掲載なども多数。

・著書

ほんだ きみ子 著「人間関係でストレスを溜めない技術」(クロスメディアパブリッシング)
ほんだ きみ子 著「なぜ、こんなに苦しいの?」(ジュリアン/こころの健康社)

・掲載新聞・雑誌

My Age(マイエイジ) (集英社) 2018年夏号「ストレス」
日経ウーマン(日経BP社) 2017年別冊「疲れた心がホッとする! 100の新習慣」
25ans(ヴァンサンカン)ウエディング(ハースト婦人画報社) 2017年春号「一歩前へ進むための婚前カウンセリングって?」
織研新聞2015年11月30日「ストレスチェック制度、明日実施義務付け」
日経ウーマン(日経BP社) 2015年11月号「心とカラダの疲れすっきり! Book」
日経ウーマン(日経BP社) 2013年10月号「働く女性のストレス処方箋」
読売新聞 2011年3月14日「災害時の心のケア ～被災者への接し方～」
読売新聞 2010年12月9日「心病む新人介護職」
MISS(世界文化社) 2010年7月号「気になる悩みをズバッと解消! こちらMISSクリニック～自律神経～」
和楽(小学館) 2009年12月号「更年期の心はこう治療する」ほか多数

・テレビ・ラジオ

bay fm 「金つぶ」ゲスト(2016年9月9日)
RSKラジオ「朝耳らじお」レギュラーコメンテーター(2017年4月～)
RSKラジオ「朝です。全員起立!」レギュラーコメンテーター(2016年3月～2017年3月)
RSKラジオ「はまいえサタデー」レギュラーコメンテーター(2010年9月～2015年3月)
RSK山陽放送テレビ「イブニング5時」ゲスト/テレビせとうち「情報パレット」ゲスト
FMおかやま Fresh Morning OKAYAMA レギュラーコーナー「きみ子先生の“朝に効く心のサプリ”」ほか

過去実施セミナーの超抜粋版！

離職防止の第一歩

～人財を生かす職場環境づくり～

株式会社アウラ心理教育センター
臨床心理士 本多公子

離職防止の第一歩となる 3つのポイント

- (1) 国の労働施策や、社会動向に見る 「農業」の立ち位置
- (2) 「働きやすい」職場環境づくり
- (3) 「働き甲斐がある」と思わせる職場づくりの秘訣

(1) 国の労働施策や、社会動向から考える 「農業」の立ち位置

【観点2】 「農業」という業種への就職であって、
「農業の世界で生きる」という感覚はあるのか？

1) 業種間の垣根がなくなっている！

2) 「農業の世界で生きる」という感覚をどう育てるか



離職防止のための大前提

(2) 「働きやすい」職場環境づくり

働きやすい \neq 楽しく儲ける
気楽にやれる

働きやすい \equiv 安心して働ける

- 1) 権利意識の高まり・情報の得やすさ を嘆く。



<労働条件を明示する>メリットに気づく



「大切に扱われている！」という安心感。
それは、離職防止の柱。

(3) 「働き甲斐がある」と思わせる職場づくりの秘訣

★ 結果と意欲に対する公平で明確な評価のためにも
【見守り】の中での【観察】を
経営者が行うと・・・



離職防止の第一歩となる 3つのポイント

- (1) 国の労働施策や、社会動向に見る 「農業」の立ち位置
- (2) 「働きやすい」職場環境づくり
- (3) 「働き甲斐がある」と思わせる職場づくりの秘訣



いわば、最大公約数的な話



農業法人ごとに、最適解がある！

法人ごとの個別ご支援は、
その最適解を一緒に探る作業です。

講演会・セミナー

職場環境改善や人財マネージメントのために
臨床心理学の専門知識を吸収する&
臨床心理士というプロを活用すること
に気づいてもらう機会です。

法人ごとの個別支援

目の前の現実的な困りごと、
潜在的な課題の解決のために、
キーパーソンへのヒヤリングなどを含めた
具体的な支援を行います。

ご清聴ありがとうございました

株式会社アウラ心理教育センター

URL <http://www.aula-pec.jp>

東京オフィス

港区六本木5丁目18-19-208

岡山オフィス

岡山市北区谷万成2丁目7-7